

秋田県県民栄誉章顕彰式

月 日 平成28年8月16日(火)

場 所 秋田県立体育館
(大相撲秋田場所)

1 顕彰式

- (1) 開 式
- (2) 「県民歌」斉唱
- (3) 知事式辞
- (4) 秋田県県民栄誉章授与及び記念品贈呈
- (5) 秋田県議会議長祝辞
- (6) 被顕彰者インタビュー
豪風 旭 関
- (7) 閉 式

県民栄誉章

本章は、スポーツ、文化等の分野での業績が顕著であるとともに、広く県民に敬愛され、社会に明るい希望を与え、秋田県の名を高めた方に対して、その栄誉をたたえ、県民の「郷土意識」を高めようとするものです。

デザインは、
杉の木（県の木「秋田杉」）、
ふきの葉（県の花「ふきのとう」）を
図案化したものです。



これまでに顕彰された方々

顕彰年月日	氏名	功績
昭和62年1月29日	落合博満	プロ野球選手（三冠王3回）
昭和63年11月2日	太田章	レスリング五輪銀メダリスト （ロス、ソウル）
	佐藤満	レスリング五輪金メダリスト （ソウル）
平成元年8月29日	石井 歆	音楽家（「大いなる秋田」作曲）
	佐藤 菊夫	音楽家（音楽監督、指揮者）
	山田久志	プロ野球選手（通算勝利数284勝）
平成5年9月29日	浅利純子	世界陸上女子マラソン優勝
平成11年2月25日	能代工業高校 バスケットボール部	全国大会優勝チーム （3年連続、9度の三冠、全国優勝通算50回）
平成16年11月2日	高橋勇市	アテネパラリンピック（視覚障害者クラス） マラソン優勝者
平成18年10月20日	小松由佳	K2に日本女性として初登頂に成功 南南東支稜ルートからの登頂成功は女性初
	T D K 硬式野球部	第77回都市対抗野球大会で初優勝 東北勢としても初の快挙
平成19年11月30日	第62回国民体育大会 秋田県選手団	第62回国民体育大会において、 本県初の天皇杯・皇后杯を獲得
平成21年3月30日	小林 範仁 湊 祐介	ノルディックスキー世界選手権大会 複合団体優勝
平成24年9月7日	五十嵐 俊幸	WBC世界フライ級チャンピオン
平成24年9月25日	江畑 幸子	バレーボール女子五輪銅メダリスト（ロンドン）
平成25年6月3日	三浦 隆司	WBC世界スーパーフェザー級チャンピオン

※敬称略

秋田県県民栄誉章被顕彰者



たけ かせ あきら
豪 風 旭
なり た あきら
(成 田 旭)

(37歳)

住 所 東京都江東区

出身地 秋田県北秋田市

功 績

平成28年1月、大相撲初場所において、本県出身力士では旧雄勝町出身の元大関清國関以来の2人目の快挙となる幕内通算500勝を達成。同年3月場所10日目には本県出身力士では最多となる幕内通算507勝を達成。

たゆまぬ努力と研鑽により、長期間にわたり幕内という高いレベルで活躍し続けている姿は、多くの県民に勇気と希望を与えており、また土俵外にあっても、帰省の際には、福祉施設や学校への訪問を精力的に行うなど、郷土力士として広く県民に敬愛されている。

略 歴

- ・平成10年3月 秋田県立金足農業高等学校 卒業
- ・平成14年3月 中央大学 卒業
- ・平成14年4月 尾車部屋 入門

【平成28年7月場所終了時点の主な戦績】

- ・幕内 522勝
- ・十両優勝1回、敢闘賞2回、金星1

(アマチュア時代)

- ・平成13年10月 第56回国民体育大会(宮城) 成年A個人優勝
- ・平成13年11月 第79回全国学生相撲選手権大会 個人優勝(学生横綱)



秋 田 県 民 歌

(昭和5年10月30日制定)

倉 田 政 嗣 作詞
文学博士 高野 辰之 修正
成 田 為 三 作曲

1 しゅうれい む ひ
秀麗無比なる鳥海山よ
きょうらん ほ
狂瀾吼え立つ男鹿半島よ
しんぴ
神秘の十和田は田沢と共に
な え ほこり こすい
世界に名を得し誇の湖水
さんすい みな し
山水皆これ詩の国秋田

2 めぐ やまやまれいき
廻らす山山靈氣をこめて
おの ね ひび せん こ ぶりん
斧の音響かぬ千古の美林
ち か こうみやく むげん ほうこ
地下なる鉦脈無限の宝庫
みわた ひろの びょうぼうかす
見渡す広野は渺茫霞み
こがね みの ゆた
黄金と実りて豊けき秋田

3 あつたねしんえんきょじん おしえ
篤胤信淵巨人の訓
くおん かがや ほくと
久遠に輝く北斗と高く
さんき まも ぼしん はえ
錦旗を護りし戊辰の栄は
やどめ じょうとう かお
矢留の城頭花とぞ薫る
れきし ほまれ
歴史はかぐわし誉の秋田

4 みんぞくすぐ しつじつ ごうき
民俗勝れて質実剛毅
じち たい
正義と自治とのさとしを体し
じんざい あまね ほぐく
人材 遍く育みなして
さん りそう も た われら
燦たる理想に燃え起つ我等
しじゅん きょうど ひら
至純の郷土と拓かん秋田